

答申番号

答申第1号

答 申 日

令和7年1月24日

いなべ市 市長 日 沖 靖 様

いーとこ定住自立圏共生ビジョン懇談会

座長

山崎恭典

第4次定住自立圏共生ビジョンの策定について（答申案）

令和6年7月31日付け い政策第54号で諮問のありましたことについては、当懇談会の意見は、下記のとおりです。

記

1 答申案件

第4次定住自立圏共生ビジョン（案）

2 答申内容

（1）暮らしに必要な諸機能を確保するとともに、自立に必要な経済基盤の整備を促進することで魅力あふれる地域を形成し、“いつまでも住み続けたい”、“住んでみたい”、“訪れてみたい”と思える圏域形成が進められることを期待します。そして圏域の住民が互いを認め合う豊かな心が地域全体に醸成され、そこに住む人がその地を誇りに思い自信が持てる地域、「地域の誇りを共に感じるまち」を目指し、最終目標年の令和11年の圏域人口109,000人を達成できる魅力的な圏域づくりを推進してください。

（2）「生活機能の強化に係る政策分野」においては、医療体制、福祉体制及び子育て環境の充実、豊かな自然と共生する観光施策、環境に配慮したごみ焼却施設の整備など、安心・安全を支える圏域づくりを期待します。

「結びつきやネットワークの強化に係る政策分野」においては、圏域住民の生活に寄り添った地域公共交通や交通インフラの整備の充実を期待するとともに、圏域住民同士の交流の場が増えることで、圏域に活気があふれることを期待します。

「圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野」においては、圏域内市町の職員等の交流が活発になり、圏域を牽引する人材育成に取り組んでください。

以 上